

第2学年A組 美術科学習指導案

授業者 小西 悟 士

1 題材名 「メッセージを持ち歩こう！」

A表現(1)イ(イ), (2)ア(イ) B鑑賞(1)ア(イ) [共通事項] (1)アイ

2 題材について

(1) 生徒の実態

本校は学習意欲が高い生徒が多く、どの教科においても真剣に取り組む姿勢が見受けられる。本学級の生徒も同様に、美術の授業に真剣に取り組む生徒が多い。

昨年度、小学校の図画工作科「造形遊び」の体験や学習を発展させた「造形実験」の授業では、イメージを造形化するため、積極的に素材や道具と関わり、仲間と協同しながら造形的な知識を獲得する場面が見られた。しかし、導入時のアイデアが思いつかず制作が滞ってしまう生徒が出ることも現状であり、そのような生徒を増やさないためにも目標を明確にし、作品の具体的な完成イメージを持つことができるような資料の準備と授業の展開が必要である。また、個人の技術的な力の差により、制作の進行状況に遅れが出てしまう生徒の対応として、助言や制作の支援などの丁寧な個別指導が必要である。

(2) 本題材を指導するにあたって

本題材は、自分を取り巻く環境や社会問題に対するメッセージをデザインし、実際の生活に使えるものに表現する。例えば、プリントエコバッグは、多くのブランドが自社のオリジナルデザインにメッセージを載せ、印刷した製品を多く販売している。その理由には、購入者が持ち歩くことによってブランドのコンセプトやテーマが発信することができることに着目したからである。これまで、広告媒体は誌面や映像などがほとんどであったが、現代は誰もが広告を持ち歩くことができるようになったことを意味している。以上のことから、エコバックの広告媒体としての役割に注目し、生徒の伝えたいメッセージを印刷したり持ち歩くことが本題材において重要である。中学2年生となり、自分を取り巻く環境や社会に対して目を向け、メッセージを伝えるためのデザインを考えることは、他者を意識した発想や構想する能力の育成につながると考え設定した。

第1時「社会問題を発端としたグラフィックデザインについて鑑賞しよう！」では、様々な社会問題を発端としたグラフィックデザインやプリントされた商品の鑑賞を行い、伝達のデザインの意図や表現の工夫、共通性などについて形などの性質や、統一感などの視点から感じたことや考えたことなどを述べ合う。

第2時「伝えたいメッセージから主題を考えよう！」では、鑑賞の学習で学んだことを生かしながら、社会問題を発端とした伝えたいメッセージのイメージから主題を生み出す。

第3・4・5時「ロゴマークのデザインを考えよう！」では、創出した主題を基に、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。

第4・5時「シルクスクリーンの版を製版しよう！」（本時）では、シルクスクリーン印刷の方法を理解し、版を制作する。版のデータはPDFまたは、JPEG形式のデータで提出し「マイスクリーンa4」を使って製版する。多色刷りを行う生徒は、原案を基に配色を決定し、多色の版を制作する。製版した生徒は試し刷り用の布に試し刷りを行う。

第6・7・8時「エコバックにプリントしよう！」では、エコバックに、シルクスクリーン技法で1版を印刷する。多色刷りの場合は、2版、3版の印刷を行う。

第9・10時「友達の表現を味わい、自分の世界を広げよう！」では、完成した作品を互いに鑑賞し、形や色彩に持たせた意図について知る。

(3) 学校研究とのかかわり

美術科における挑戦心を、「自らの理想（思い描いたこと）を表現するために試行錯誤する生徒の姿」と捉えている。この題材では、自分を取り巻く環境や社会に対して目を向け、メッセージを伝えるためのデザインを考えるための表現方法を、図と文字の組み合わせや配色などをタブレット端末で思考錯誤しながら、他者を意識した発想や構想する能力を身に付けさせたい。

(4) 学習指導要領上での位置付け

A表現－(1)イ伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動

(イ) 伝える目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

(2) ア発想や構想したことなどを基に、表現する活動

(イ) 材料や用具の特徴などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。

B鑑賞－(1) ア美術作品などの見方や感じ方を深める活動

(イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

[共通事項]

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

3 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・形などの性質及び、それらが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージを捉えることを理解する。([共通事項])
- ・意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作手順などを総合的に考えながら、シルクスクリーン印刷で表現できる図案を考え、見通しを持って創造的に表す。('A表現')(2))

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・社会問題に目を向け、伝えたいメッセージのイメージなどから主題を生み出し、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。('A表現')(1))
- ・伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。('B鑑賞')(1))

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、目的や機能を考えて表現したり鑑賞したりすることに関心をもち、主体的に学習活動に取り組もうとする。

4 題材の評価規準

学習活動に即した評価規準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
知 形などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、ロゴマークのデザインや造形的な特徴を基に、全体のイメージを捉えることを理解している。	発 社会問題に目を向け、伝えたいメッセージなどから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表現の学習活動に取り組もうとしている。

<p>技 意図に応じて表現方法を創意工夫して,制作の順序などを総合的に考えながら,見通しを持って創造的に表している。</p>	<p>鑑 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り,作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして,美意識を高め,見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい,主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り,作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
---	--	---

5 指導と評価の計画 (10時間)

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
<p>1. 鑑賞 (1時間)</p> <p>●社会問題を発端としたグラフィックデザインを鑑賞し,伝達のデザインに対する見方や感じ方を深めるとともに,形などの感情にもたらす効果や,統一感など全体のイメージを捉えることを理解する。</p> <p>・社会問題を発端としたグラフィックデザインの鑑賞を行い,伝達のデザインの意図や表現の工夫,共通性などについて形などの性質や統一感などの視点から感じたことなどの意見を述べ合う。</p> <p>・感じ取ったことや考えたことをワークシートに記述する。</p>	<p>知</p> <p>↓</p>	<p>鑑</p> <p>↓</p>	<p>態表</p> <p>↓</p>	<p>技 造形的な視点に着目して,伝達のデザインにおける,統一感などについて理解しているかどうか見取り,できていない生徒に対して形などの効果を具体的に示しながら指導を行う。【発言の内容,ワークシート】</p> <p>鑑 ロゴマークの表現の意図と創造的な工夫などについて考えているかを見取り,見方や感じ方が深まらない生徒に対して [共通事項] の視点を持たせて作品の鑑賞をさせるなどの指導を行う。 【発言の内容,ワークシート】</p> <p>態鑑 伝達のデザインに興味関心を持ち,形などの性質を理解しようとしたり,調和のとれた洗練された美しさを感じ取ろうとしたり,表現の意図や創造的な工夫などについて考えようとしているかを見取り,できていない生徒に対して,身近なデザインを紹介したり,見る人の視点に立たせるなどの指導を行う。 【ワークシート,活動の様子】</p> <p>鑑 ここでは生徒が,伝達のデザインに対する見方や感じ方を深められたかどうかを評価する。【ワークシート】</p> <p>態鑑 主体的に伝達のデザインの形などの効果や全体のイメージで捉えながら,見方や感じ方を深めようとしているかを評価する。【ワークシート,活動の様子】</p>
<p>2. 発想や構想 (3時間)</p> <p>●主題を生み出す。</p> <p>・鑑賞の学習で学んだことを生かしながら,社会問題を発端とした伝えたいメッセージのイメージから主題を生み出す。</p>	<p>発</p> <p>↓</p>	<p>鑑</p> <p>↓</p>	<p>態表</p> <p>↓</p>	<p>発 社会問題を発端とした伝えたいメッセージのイメージなどから主題を生み出せているかどうかを見取り,主題が生み出せていない生徒に対して,伝える相手やエコバッグを使用する場面について考えたりするなどの手立てを講じる。【アイデアスケッチ】</p> <p>態表 主題を生み出そうとする態度を見取り,主体的に活動できていない生徒に対して,鑑賞の学習での内容について振り返りをさせたり,伝える相手など具体的な内容について考えさせたりするなどの指導を行う。 【アイデアスケッチ,活動の様子】</p>

- 構想を練る。
- ・ 創出した主題を基に、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。

発



態表



発 主題を基に形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っているかどうかを見取り指導する。構想が練れていない生徒に対して再度主題を確認させたり、伝える相手や使う場面と【共通事項】との関連を考えさせたりする。

【アイデアスケッチ, ワークシート】

発 ここでは生徒が、伝える相手や自分を取り巻く環境や社会問題に対するメッセージのイメージなどから主題を生み出し、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っているかどうかを暫定的に評価し、授業外で主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と併せて再度見取り、必要に応じて修正する。

【アイデアスケッチ】

態表 生徒が主体的に知識を活用しながら、発想や構想の

態表 主体的に構想を練ろうとしているかを見取り、できていない生徒に対して、鑑賞の活動での様々な場面で使われているロゴマークにおける伝達のデザインの意図や工夫などについて、形などの性質や統一感などの視点から再度考えさせる。【アイデアスケッチ, 活動の様子】

発



態表

学習に取り組もうとする態度を評価する。

【アイデアスケッチ, 活動の様子】

3. 制作（5時間）本時

- 発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表す。
- ・ 形などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。また、制作の途中に鑑賞を行い、客観的な視点に立って他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にしていくなど

技



発



態表



発 この段階で構想などがまとまらない生徒を中心に見取り、指導を行う。【制作途中の作品】

態表 主体的に表現方法を創意工夫しようとしていたり、見通しをもって表そうとしていたりしている態度を見取り、できていない生徒に対して形や線の描き方による印象の違いなどに気付かせながら、表現の工夫などについての意欲を高めるような指導を行う。

【制作途中の作品, 活動の様子】

知・技 作品から、意図に応じて表現方法を創意工夫して表しているかなどを見取るとともに、形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを併せて見取り、**知**と**技**を**知・技**として一体的に評価する。【作品, アイデアスケッチ, ワークシート等】

態表 主体的に制作に取り組む、形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、意図に応じて工夫

しながら作品を完成させる。	知・技	態表	して表そうとしている態度を評価する。 【作品、活動の様子】
4. 鑑賞（2時間） ●友達の表現を味わい、自分の表現を広げよう！	知 ↓	鑑 ↓	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>知 形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り、できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。 【ワークシート、発言の内容】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>鑑 態鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えることなどができているかどうかなどと、取り組む態度を見取り、できていない生徒に対して主題から作品を見つめさせてたり、作者の心情について考えさせたりするなどの指導を行う。【ワークシート、発言の内容、活動の様子】</p> <p>態鑑 主体的に作品を鑑賞し、形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えようとしていたりしているかどうかを評価する。【ワークシート、活動の様子】</p> </div>
<授業外：題材が終了後>	知・技	鑑 ↓ 発	<p>知・技 完成作品や表現及び鑑賞のワークシート、制作レポートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、アイデアスケッチ、ワークシート、制作レポート】</p> <p>鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方が広げられているかをワークシートで見取り評価する。 【ワークシート】</p> <p>発 発想や構想について、主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と合わせて再度見取り必要に応じて修正する。 【完成作品、アイデアスケッチ、ワークシート】</p>

6 本時の計画（5／10時間）

(1) 目標

社会問題を発端とした伝えたいメッセージのイメージからロゴマークをデザインし、制作の手順など総合的に考えながら、見通しをもって表す。

(2) 準備

○教師：ノートパソコン・製版機・製版用アプリケーション・電子黒板・プロジェクタ・製版印刷用紙製フレームA4サイズ・スクリーンマスター・スクリーンマスターインク・両面テープ・エコバッグA4サイズ

○生徒：筆記用具・教科書・ファイル・タブレット型端末・USBメモリ・雑巾

(3) 展開

過程 時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (〔共〕：〔共通事項〕に係る内容)	評 価 と 手 立 て 観点：評価規準【評価方法等】
導入 5分	<p>★デザインしたロゴマークのデータを製版しよう！</p> <p>●本時のねらいと内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業の開始前に手指消毒・洗浄を呼びかけ、タブレット端末を活用し、前時までの振り返りを確認するように促す。 電子黒板を活用し、本時の活動について説明する。 製版用のアプリを操作し、製版方法を実演して制作過程を説明する。 	<p>知 形などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、ロゴマークのデザインや造形的な特徴を基に、全体のイメージを捉えることを理解している。</p> <p>【作品、アイデアスケッチ、ワークシート等】</p> <p>◎形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、伝える目的や機能を考えデザインしている。</p> <p>◆形や色彩に注目するよう助言する。</p>
展開 35分	<p>●デザインデータを製版してみよう！（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 製版機を活用し製版をする。 <p>●試し刷りをしよう！（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 製版が終わったら試し刷りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> デザインデータを白黒で作成しているか確認させる。〔共〕製版用のデータを作成する前に、<u>形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果に注目し、ロゴマークをデザインできているかどうか確認させる。</u> タブレット端末からTeamsを經由してデザインデータを提出させる。 順番に教師のパソコンを使い製版機を操作し版を製版させる。 製版した版を使い、試し刷り用の布に印刷させる。 印刷するとき、版が動かないように枠を抑えるなど仲間と協力して刷るように促す。 試し刷りした後は、布で版をきれいに掃除して乾燥棚に提出させる。 試し刷りをする様子や、印刷した作品の写真をタブレット端末で撮影させ、記録するように促す。 	<p>技 意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p> <p>【作品、アイデアスケッチ】</p> <p>◎製版の手順やシルクスクリーンの印刷方法などを理解し、見通しを持って表している。</p> <p>◆製版の手順や印刷方法など、ポイントを絞って指導する。</p> <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表現の学習活動に取り組もうとしている</p> <p>【ワークシート、活動の様子】</p> <p>◎本時のねらいや制作の手順を理解し、協同しながら見通しをもって制作に取り組んでいる。</p> <p>◆実演をするなどして、シルクスクリーン版画の面白さやそのよさに気付かせる指導を行う。</p>
まとめ 10分	<p>●本時の活動を振り返り、今日の学習で制作したこと、制作を通して発見したこと、次回の目標を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動についてじっくり振り返り、デジタル版の振り返りシートに考えをまとめることができるようにする。 手指洗浄を呼びかける。 	

◎：十分満足できる状況 ◆：C判断生徒への手立て
(備考 在籍生徒数 男子17名 女子18名 計35名)